

現況報告書（令和4年4月1日現在）

1. 法人基本情報					
(1)都道府県区分 47 兵庫県	(2)市町村区分 201 那覇市	(3)所轄庁区分 47201	(4)法人番号 7360005001703	(5)法人区分 01 一般法人	(6)活動状況 01 運営中
(7)法人の名称 翠福社会	(8)主たる事務所の住所 兵庫県 那覇市 字小塚703-1	(9)主たる事務所の電話番号 098-858-8457	(10)主たる事務所のFAX番号 098-858-1032	(11)従たる事務所の有無 2 無	
(12)従たる事務所の住所	(13)法人のホームページ http://orokumi.namihokuken.com/	(14)法人のメールアドレス hiscu858@yahoo.co.jp	(15)法人の設立認可年月日 平成19年3月23日	(16)法人の設立登記年月日 平成19年3月28日	

2. 当該会計年度の初日における評議員の状況					
(1)評議員の定員	4名以上	(2)評議員の現員	7	(3-6)評議員全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	0

(3-1)評議員の氏名	(3-2)評議員の職業	(3-3)評議員の任期	(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5)他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数
高良 ミ子		R3.6.18 ~ R7年度定時評議員会最終結末まで			1
濱崎 初子		R3.6.18 ~ R7年度定時評議員会最終結末まで			1
松島 美枝子		R3.6.18 ~ R7年度定時評議員会最終結末まで			1
佐久田 悟		R3.6.18 ~ R7年度定時評議員会最終結末まで			1
下地 正敏		R3.6.18 ~ R7年度定時評議員会最終結末まで			1
上原 眞		R3.6.18 ~ R7年度定時評議員会最終結末まで			1
金城 友枝		R3.6.18 ~ R7年度定時評議員会最終結末まで			1

3. 当該会計年度の初日における理事の状況					
(1)理事の定員	6	(2)理事の現員	6	(3-12)理事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	7,589,475 12 特例無

(3-1)理事の氏名	(3-2)理事の役職(注)	(3-3)理事長への就任年月日	(3-4)理事の常勤・非常勤	(3-5)理事選任の評議員会議決年月日	(3-6)理事の職業	(3-7)理事の所轄庁からの再就職状況	(3-13)前会計年度における理事会への出席回数
高良 眞	1 理事長 R3.6.18 ~ 令和5年度定時評議員会開催時まで	令和3年6月18日	1 常勤	令和3年6月18日	1 社会福祉事業の経営に関する意見を有する者	2 無	4
赤嶺 明幸	3 その他理事 R3.6.18 ~ 令和5年度定時評議員会開催時まで		2 非常勤	令和3年6月18日	4 その他	2 無	4
高良 栄一	3 その他理事 R3.6.18 ~ 令和5年度定時評議員会開催時まで		2 非常勤	令和3年6月18日	4 その他	2 無	3
長瀬 力	3 その他理事 R3.6.18 ~ 令和5年度定時評議員会開催時まで		2 非常勤	令和3年6月18日	4 その他	2 無	3
赤嶺 恵子	3 その他理事 R3.6.18 ~ 令和3年度定時評議員会開催時まで		1 常勤	令和3年6月18日	3 施設の管理者	2 無	4
赤嶺 慎吉	3 その他理事 R3.6.18 ~ 令和3年度定時評議員会開催時まで		1 常勤	令和3年6月18日	4 その他	2 無	4

(注)「(3-2)理事の役職」のうち、「理事長」は、社会福祉法45条の13第3項で規定する理事長(会長等の他の役職名を使用している法人がある。)である。
「業務執行理事」は、社会福祉法45条の16第2項第2号で規定する業務執行理事(常務理事等の他の役職名を使用している法人がある。)である。

4. 当該会計年度の初日における監事の状況					
(1)監事の定員	2	(2)監事の現員	2	(3-6)監事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	49,000

(3-1)監事の氏名	(3-2)①監事の職業	(3-2)②監事の任期	(3-3)監事の所轄庁からの再就職状況	(3-4)監事の選任の評議員会議決年月日	(3-5)監事要件の区分別該当状況	(3-7)前会計年度における理事会への出席回数
我如古 エイ代		R3.6.18 ~ 令和5年度定時評議員会開催時まで		令和3年6月18日	3 社会福祉事業に意見を有する者 (その他)	4
新垣 勝代		R3.6.18 ~ 令和5年度定時評議員会開催時まで		令和3年6月18日	6 財務管理に意見を有する者 (その他)	3

5. 前会計年度・当会計年度における会計監査人の状況					
(1-1)前会計年度の会計監査人の氏名(監査法人の場合は監査法人名)	(1-2)前会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)	(1-3)前年度決算にかかる定時評議員会への出席の有無	(2-1)当会計年度の会計監査人の氏名(監査法人の場合は監査法人名)	(2-2)当会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)	

6. 当該会計年度の初日における職員の状況						
(1)法人本部職員の人数	①常勤専従者の実数	0	②常勤業務者の実数	0	③非常勤者の実数	0
			常勤換算数	0.0	常勤換算数	0.0
(2)施設・事業所職員の人数	①常勤専従者の実数	20	②常勤業務者の実数	0	③非常勤者の実数	4
			常勤換算数	0.0	常勤換算数	0.0

7. 前会計年度に実施した評議員会の状況					
(1)評議員会ごとの評議員会開催年月日	(2)評議員会ごとの評議員・理事・監事・会計監査人別の出席者数	(3)評議員会ごとの決議事項			
令和3年6月18日	評議員 7 理事 0 監事 2 会計監査人	第2号議案 翠福社会の令和2年度決算報告書・内部監査報告 第3号議案 翠福社会の令和3年度事業計画(案)について 第4号議案 翠福社会の令和3年度予算(案)について 第5号議案 理事候補者、監事候補者の選任について 第6号議案 理事・評議員報酬変更について			

	ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額 (円)	(ウ) 補助金額 (円)	(エ) 借入金額 (円)	(オ) 建設費合計額 (円)	ウ 延べ床面積
	イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日 (1回目)	(ア) - 2 修繕年月日 (2回目)	(ア) - 3 修繕年月日 (3回目)	(ア) - 4 修繕年月日 (4回目)	(ア) - 5 修繕年月日 (5回目)	(イ) 修繕費合計額 (円)

1.1. 前会計年度における事業等の概要 - (4)備考

「愛されている実感が得られるよう育てる」「かかげのない子ども時代をゆとりたっぷり楽しみながら保育する」「様々ななかわりの中で育ちあえることを大切に」の基本方針をもとに、乳幼児にふさわしい環境の中で保育を行い、情緒の安定と社会性を身につけ、豊かな体験が得られるように総合的な養育を行った。

1.1-2. 地域における公益的な取組 (地域公益事業(再掲)含む)

①取組類型コード分類	②取組の名称	③取組の実施場所(区域)
	④取組内容	

1.2. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況 (社会福祉充実残額算定シートを作成するまで編集することはできません)

(1) 社会福祉充実残額等の総額 (円)	0
(2) 社会福祉充実計画における計画額 (計画期間中の総額)	
①社会福祉事業又は公益事業 (社会福祉事業に類する小規模事業) (円)	0
②地域公益事業 (円)	0
③公益事業 (円)	0
④合計額 (①+②+③) (円)	0
(3) 社会福祉充実残額の前年度の投資実績額	
①社会福祉事業又は公益事業 (社会福祉事業に類する小規模事業) (円)	0
②地域公益事業 (円)	0
③公益事業 (円)	0
④合計額 (①+②+③) (円)	0
(4) 社会福祉充実計画の実施期間	~

1.3. 透明性の確保に向けた取組状況

(1)積極的な情報公表への取組	
①任意事項の公表の有無	
②事業報告	1 有
③財産目録	1 有
④事業計画書	1 有
⑤第三者評価結果	3 該当なし
⑥苦情処理結果	1 有
⑦監事監査結果	1 有
⑧附属明細書	1 有
(2)前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況	
①事業運営に係る公費 (円)	184,527,772
②施設・設備に係る公費 (円)	1,500,000
③国庫補助金等特別積立金取崩累計額 (円)	0
(3)福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について	
施設名	直近の受審年度

1.4. ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1)会計監事人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況	
①実施者の区分	03 税理士
②実施者の氏名 (法人の場合は法人名)	波平税理士事務所 税理士 波平 正
③業務内容	
④費用 [年額] (円)	
(2)法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況	
①所轄庁から求められた改善事項	
②実施した改善内容	

1.5. その他

退職手当制度の加入状況等 (複数回答可)	
① 社会福祉施設職員等退職手当共済制度 ((株)福祉医療機構) に加入	
② 中小企業退職金共済制度 ((独)勤労者退職金共済機構) に加入	
③ 特定退職金共済制度 (商工会連所) に加入	
④ 都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入	
⑤ その他の退職手当制度に加入 (具体的に: ●●●)	
⑥ 法人独自で退職手当制度を整備	
⑦ 退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	